



一番の魅力は人。
クリエイターたちが仕掛ける
独自の“自治会ムービー”

芝好園自治会

加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262



さまざまな発信をしながら、これからは地域のひととひとの絆を深めていきたいと語る大石会長

he said,
自分から手をあげたり、
独自の活動をしている人が多い。
そこを掘り起こし、地域の絆につなげたい

その日訪ねたお宅では、本格的な照明がセットされ、ちょうどインタビューの動画撮影が行われていた。来年度60周年を迎える芝好園自治会が、その記念も兼ねて『まちだ〇〇ごと大作戦』として提案し、作成している『わたしたちの芝好園』魅力ムービー大作戦』の撮影中にお邪魔したので。完成すれば、町田市初の『自治会ムービー』となる。

芝好園自治会は、緑も多く落ち着いた環境に恵まれている。町田市立国際版画美術館や芹ヶ谷公園もほど近い。加入世帯数は217戸で、その多くが一戸建てだ。自治会加入率は町田市の平均52%を大きく上回る95%。もとより近所の間、お付き合いが大きいところなんだ。

「自治会としてはちょうど世代が変わっていく時期でもあって、今後も無理なく運営していくために皆で話し合っって会長をローテーション制にすることに決めました。その一番手が私なんです」折しも来年度が設立60周年。これまで節目の年には記念誌を製作

しているが、自分たちができることは何だろうと考えた。「そう考えたときに、今日も一緒にいる石垣さんや中村さんもそうですが、この自治会には映像関係を始め、クリエイティブな仕事をされている方が多いんです。だったらこの自治会の魅力を改めて発信するムービーを作ったら面白いだろうと考えたんです」

「つは自然ですね。私はここに来て20年くらいですが、当初、休日の朝はカッコウの鳴き声で目覚めたものです。そしてもう一つが今回のテーマ、人だと考えています。ほどよくお節介というか、何かあると皆が声掛けをしてくれる。とにかく魅力的な人が多い。だから、ここに住む人たちのインタビューをベースとしてムービーを作ることにしました」

「年代も幅広く、あくまでここで暮らしている方々の活動を取り上げたいと考えています。」

聞けば、動画に登場する予定の顔ぶれも、驚くほどに多彩だ。「主人が尺八、奥さまがハーブを奏でる素敵なご夫婦。ずっとここで暮らしているご高齢の会員さん。ルリビタキやアオゲラなど、周辺で見られる野鳥をずっと撮影しているアマチュアカメラマン。40年間自治会長を務められた前々会長の稲木さんご夫婦や前会長の稲野さん。和太鼓のブローを自指す介護士さん……。それに、私も参加している4人組の芝好園バンドも登場予定です」

自治会では、秋祭りや新春のつどいなど変わらず続く行事や、発足から20年以上続く「人生これからクラブ」という老人会、お花見バーベキューなど、独自の活動も盛んだ。映像には、そうした活動の様子も盛り込まれる予定だという。

地域に住む人々の横顔をより身近に感じながら、様々な活動を通してより絆を深めていく。そのため魅力的な発信ツール。出来上がりが今からとても楽しみです。



右ページは後列左から、宮坂晃洋さん、大石協会長、石垣敦男さん、前列左から中村信翔くん、中村信也さん 左) 皆が時間をさいて手伝い合いながら、撮影やインタビューを進め、プロジェクトに参加している 中) 1月の新春のつどいでは、会員による和太鼓の演奏も行われた 右) 有志でバーベキューを行うなど、コミュニケーションも良好だ